



発刊の辞

春秋会50周年記念事業実行委員会 委員長 久保井 一匡

春秋会は昭和33年（1958年）7月5日大阪弁護士会の一党派として創立総会を開いてい

るので、2008年7月5日をもって満50年という大きな区切りを迎えた。当初の会員は60余名でスタートしたが、現在では545名（平成20年10月現在）となっている。当初の設立の趣旨は大阪弁護士会の役員選挙の弊風を打破するところにあったが、やがてその活動の範囲は日を追うごとに拡がって行った。この半世紀春秋会は大

阪弁護士会、近畿弁護士会連合会、日本弁護士連合会に幾多の役員、委員を派遣し人権擁護、消費者問題、公害環境問題、業務改革問題、司法問題をはじめあらゆる分野で活動をさせていただいた。とくに

現在21世紀日本社会の構造改革の大きな柱として司法制度の大改革が進められているが、その中でも春秋会は大きな役割を果たし得たのではないかとひそかに自負している。ただこのように春秋会が大きく発展することができたのは、ひとえに大阪弁護士会の会員の皆様の暖かいご支援の賜物と厚く感謝申し上げる次第である。

そこで春秋会は、春秋会50周年記念事業実行委員会を設置し6本の記念行事を行った。

①記念式典

（平成20年10月17日 大阪弁護士会館）

②記念講演会

（平成20年10月17日 大阪弁護士会館 作家高村薫氏）

③記念シンポジウム

（平成20年8月26日及び同年9月17日 法曹人口問題と司法改革大阪弁護士会館）

④記念ゴルフ大会

（平成20年10月1日 アートレイクゴルフクラブ）

⑤記念誌の発刊

（平成21年2月予定）

⑥記念海外旅行

（平成21年2月 ベトナム）

このような一連の記念行事のひとつとして本書を発刊させていただくことになったが、発刊の目的は単に春秋会の過去半世紀の活動を振り返るだけでなく春秋会が今後さらに発展をつづけるために何が必要かを考える道標たらんとするものあわせて春秋会会員の求心力・結束力を高めようとするものである。

本日、皆様に本書をお届けすることができ実行委員会として責任の一端を果たしたという思いをしているところである。

50周年を迎えて

春秋会常任幹事 齋藤 ともよ



1958年（昭和33年）7月

5日に春秋会が創立されて50年

が経過し、歩んできた道程を回顧し、明日への一里塚となる50周年記念誌が発行されることをお慶びします。昨年8月から10月まで、2回のシンポジウム、ゴルフ、そして式典、講演などの多彩な記念行事が順次開催されましたが、いずれも会員の皆様、会派外の弁護士の皆様、そして市民の方々の多数のご参加をいただき、暖かいご支援、熱意溢れるご協力の下で、成功裏に執り行うことができました。

本誌上をお借りして改めて厚くお礼申し上げます。

役員選挙の公正・明朗を計ることを目的に結成された春秋会は、この目的を達成した後、「弁護士会の社会的使命に対する深い認識と反省のもとに、会員相互の研鑽、親睦を図るとともに、大阪弁護士会の弊風を刷新し、その健全な発展を促進する」という目的（規約第2条）の下で、会派として活動を継続・展開してきました。

会員数は創立時の60名から550名に増え、この10年間で約140名も増えただけでなく、大弁会長3名、日弁連会長2名のほか、大阪弁護士会の執行部、常議員会、委員会などに多くの委員を送り出し、大阪弁護士会の中核を担い、日弁連の活動でも大きな役割を担っています。また会活動の根幹である幹事会と政策、広報、研修、親睦の各委員会や若手会の活動を重視した会務運営

を行ってきました。

一方、法曹界のこの10年間は、1999年に司法制度改革審議会が設置されて以降、2001年に審議会意見書が発表され、それに基づき多数の立法、法科大学院、法テラスの設立、運営も行われており、この5月からの裁判員裁判の実施と被疑者国公選の拡大を残すのみです。このような戦後最大の司法改革の中で、当会は、社会におけるプロフェッションとして弁護士の役割を位置づけ、日本の法の法化および官僚司法制の廃止、市民的裁判官制度（法曹二元）と陪参審の実現を掲げてきた歴史を踏まえ、21世紀の日本社会にあるべき司法を見据え規約第2条の目的を果たす道を模索してきました。

50周年事業は、法曹人口の増加に伴う会員数の増加に対応し求心力を強めるため、円滑な会務運営の基盤整備をさらに進め、司法試験合格者数の適正化を求める決議案を巡る意見交換会や記念シンポジウムを通じて、会の伝統である談論風発の気風を高め、平和、人権、そして弁護士の業務など幅広い分野の活動を共有して一体感を醸成し、顔の見える暖かい人間関係を育てる大きな契機となったと確信します。

最後に、50周年という大きな節目の年に常任幹事に就任したことを光栄に感じますとともに、50周年記念事業実行委員会の皆様のご尽力に対して心からお礼を申し上げます。

春秋会50周年記念誌目次

発刊の辞 春秋会50周年記念事業実行委員会委員長 久保井一匡 2
50周年を迎えて 春秋会常任幹事 齋藤ともよ 3

第1 50周年記念式典

春秋会祝賀行事式次第

(1) 記念式典・祝賀会

主催者挨拶 春秋会50周年記念事業実行委員会委員長 久保井一匡
来賓挨拶 大阪弁護士会会長 上野 勝
来賓挨拶 友新会幹事長 新谷 充則
乾 杯 一水会 竹林 節治
閉会の辞 春秋会常任幹事 齋藤ともよ
(2) 春秋会創立50周年記念事業報告 春秋会50周年記念事業実行委員会事務局長 辻 公雄 20

第2 50周年記念講演会

作家 高村 薫氏「時代を見る目」

第3 シンポジウム

(1) 「司法改革と法曹人口の増員―社会の変化と市場原理の中で「弁護士の使命と課題」を考える」

パネリスト 大川真郎 久保井一匡 関根幹雄 谷 英樹 田村ゆかり
西村 健 増田 尚 森下 弘 山下 潔 由良尚文
コーディネーター 辻 公雄 松森 彬

(2) 市民に聞く! 「法曹人口問題とこれからの司法の役割」

パネリスト 石原純子 郭 辰雄 田森洋樹 野呂雅之 三上 徹 泰山義雄 宮崎裕二
コーディネーター 辻 公雄 松森 彬

第4 若手会員のアンケート

若手弁護士に対するアンケート調査結果のまとめ

出版・シンポジウム部会 増田広充 田村ゆかり

第5 春秋会創立期の会員のお話をお伺いする会

出席者 東中光雄 橋本 敦 平山芳明 熊谷尚之

第6 記念ゴルフ大会

春秋会50周年記念ゴルフ大会の報告

春秋会50周年記念ゴルフ大会幹事長 野仲厚治

第7 記念旅行

春秋会50周年記念ベトナム旅行

春秋会常任幹事 吉田之計

第8 会員ひとこと集

第9 資料

(1) 会員名簿 254
(2) 物故会員名簿 257
(3) 春秋会50年の歩み 259
(4) 春秋会綱領 287
(5) 春秋会規約 288
編集後記 295